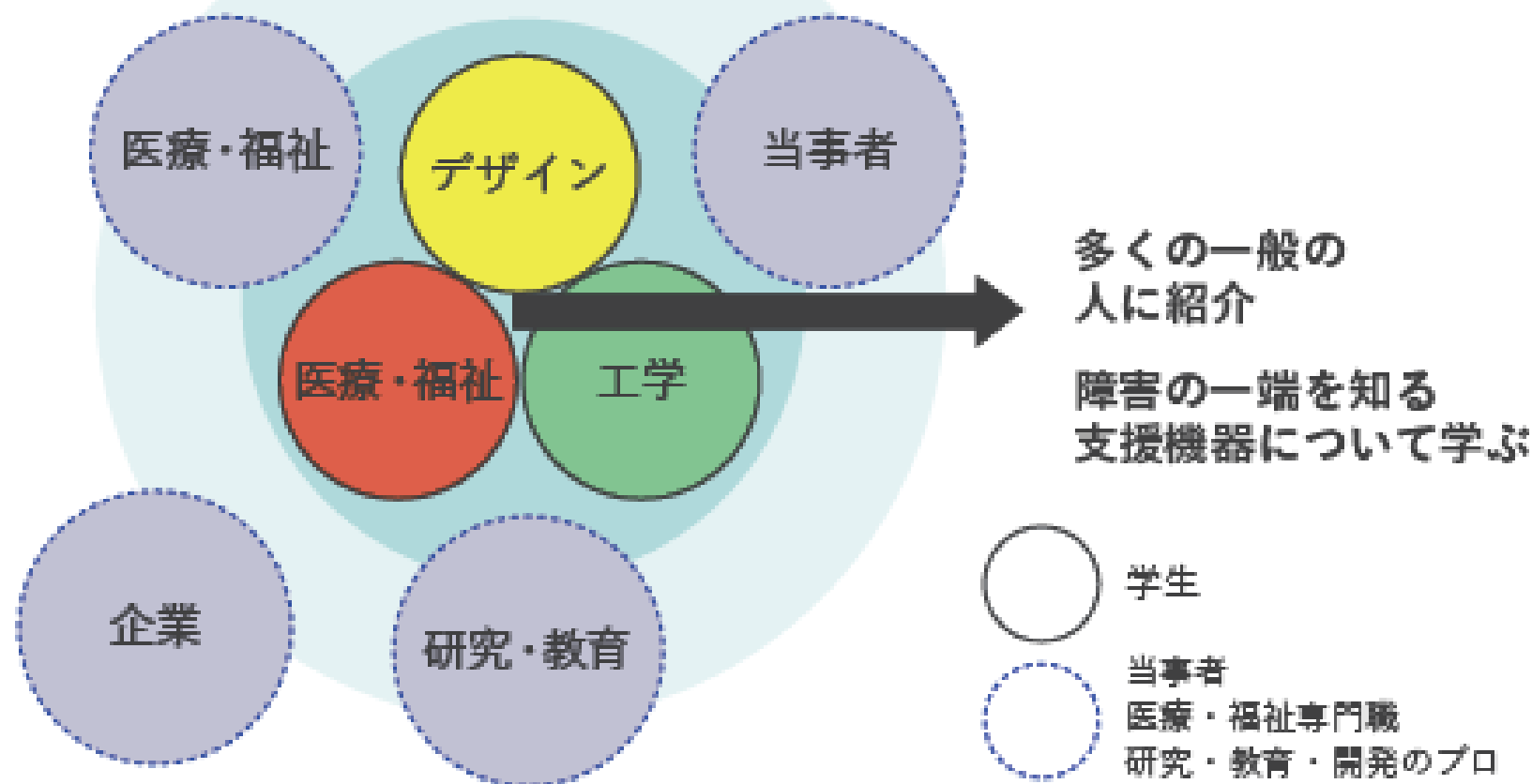


Needs & ideas forum 2025



国立障害者リハビリテーションセンター
職員・関係者・機関等

福祉のお題で学生さんに
何か作ってもらう



*今年度は、研究課題として実施します

*そのため、皆さんの取り組みに関わる会話やデータのやり取り等の記録を取らせていただきます。（詳細は、別途説明）

プログラムの流れ

8月

8月

9月

10月

11月

11月

12月

説明会

グループ
編成

ニーズ
分析

要求仕様
決定

基本仕様
決定

試作機
制作

リハー
サル

成果
発表会

- ・プログラム説明
- ・施設見学
- ・ニーズ紹介
- ・説明書、承諾書作成
- ・その他

- ・ニーズ毎
- ・各専門領域混成
- ・3～6名/Group
- ・ニーズ分析方法
- ・説明（講義）
- ・その他

- ・自己紹介
- ・ニーズ等情報共有
- ・ニーズの分析（ブレスト）

- ・課題の列挙
- ・課題解決方法検討
- ・ペルソナ設定
- ・必要機能決定

- ・動作原理検討
- ・安全設計
- ・基本設計

- ・試作機完成
- ・動作確認
- ・安全確認

- ・プレゼン資料作成
- ・発表者決定
- ・グループ別観想作成
- ・学校別観想作成
- ・発表会：12月21日



- ・試作機の改良

- ・当事者からニーズ聴取・試作機に対する意見

- ・専門家（企業・セラピスト等）からのアドバイス

- ・進捗状況の定期報告会（1回/月程度）・指導者によるアドバイス



	プログラム内容	担当指導者（時間）
第0回 8月	オリエンテーション（概要説明・施設見学・ニーズ例の紹介・その他）	医療・福祉系（180分）
第1回 8月	ニーズの分析方法（講義）（90分） 取り組むニーズの決定とチーム編成（90分）	医療・福祉系、障害者支援施設 スタッフ（180分）
第3回 10月	ニーズの聴取と分析、要求すべき仕様（要求仕様）の決定 ※グループ毎に、障害当事者のニーズをインタビュー等を通じて聴取した上で、課題を分析し機器開発によって解決すべき方法を抽出する。その際に、先行開発された既存機器の現状を調査（試用）し課題を絞り込む。調査結果等を踏まえ、開発機器に要求すべき仕様（要求仕様）を立案する。	医療・福祉系、障害者支援施設 スタッフ（180分）
第4回 10月	基本仕様の決定と試作機等の作製 ※要求仕様に基づいた基本仕様を立案し試作機や仮想モデルを作成する。試作機や仮想モデルに基づいた課題解決のシミュレーションを実施し必要に応じて試作機や仮想モデルの改良を行う。	デザイン系・工学系（180分）
第5回 11月	試作機の改良と臨床評価 ※改良した試作機や仮想モデルの有効性について障害当事者等に確認し、意見を踏まえ、試作機や仮想モデルをさら改良する。 ※加工方法については、企業からの協力（アドバイス）を得る。	デザイン系・工学系（180分）
第6回 11月	成果物の進捗結果の発表（リハーサル） ※一般公開に向け、関係者内でのプレゼンテーションを行い機器の有用性の検討と最終調整を行う。	全指導者（180分）
第7回 12月	成果物の一般公開（成果発表会）・学習成果の評価※障害当事者や関係者、一般の方に公表（広報物及び口頭発表）し、意見交換を通じて成果の有用性を確認する。広報物はフォーマットを統一したパンフレット（作品ごとにニーズ・アイデア・使い方等を整理し、本取組みに対するグループ・学校毎の感想を加えた構成）を作成する。	全指導者（270分）

学習効果の評価：取組み態度、成果内容、プレゼンテーション、レポート、アンケート

①オリエンテーション（概要説明・施設見学・ニーズ例の紹介・その他）



②ニーズの分析方法、取り組むニーズの決定とチーム編成



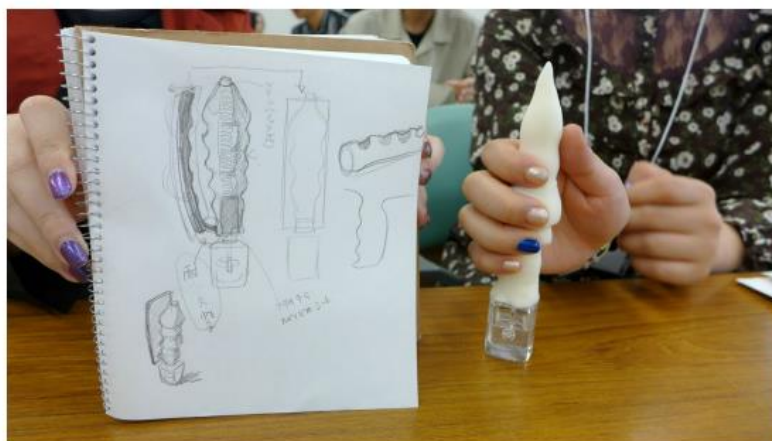
③ニーズの聴取と分析、要求すべき仕様（要求仕様）の決定



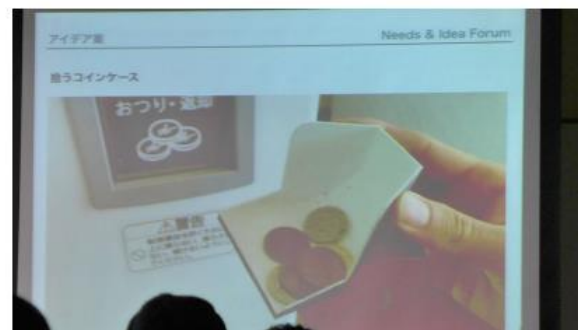
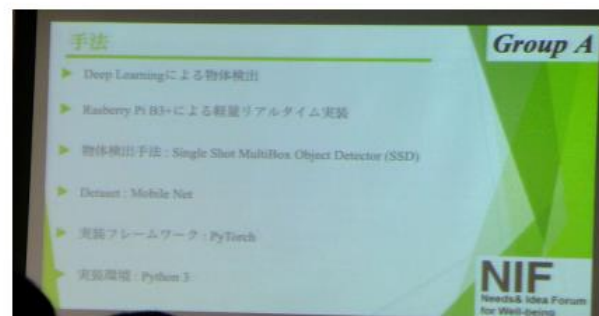
④基本仕様の決定と試作機等の作成



⑤試作機の改良と臨床評価



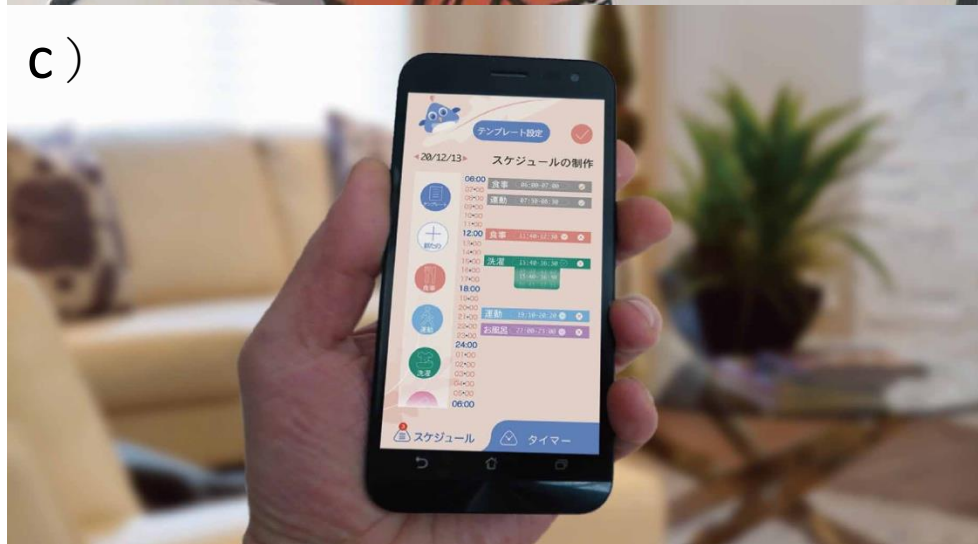
⑥成果物の進捗結果の発表（リハーサル）



⑦成果物の一般公開（成果発表会）







<http://n-i-f.jp/>